

## 令和８年度 第３回大和市協働推進会議 会議録

- １．日 時 令和８年８月３日（月）午後１５時００分から１５時４０分
- ２．場 所 大和市役所会議室棟 101 会議室
- ３．出席者 大和市協働推進会議委員 7 名、  
事務局 5 名（市民経済・にぎわい創出部長、つながり推進課長他 3 名）
- ４．公開非公開の別 公開
- ５．傍聴人数 0 名
- ６．議 題

大和市民活動センター管理運営（付帯意見（最終案））の答申内容を事務局から説明。

審議の結果、提案事業について、全委員一致で推進することになった。

審議における、主な意見、質疑応答は以下のとおり。

申請団体：拠点やまと

事業名：大和市民活動センターの管理運営

- 委員 市民活動の拠点として重要な施設であり、協働事業として進めていくにあたり「シビックプライド（市民の誇りや愛着）」という市民が主体的に参加するような形となるように推進していただきたい。
- 委員 大和市と共通点でもある茅ヶ崎市の場合、新しい住民、特にニューファミリー層が市民活動に入ってきている。シリウスも多くの新住民が含まれて来ているため、もっと市民活動を知らせる広報に力を注ぎ、例えば市民活動と生涯学習センター及び拠点やまととの連動ができる流れを作り、循環的な市民活動が展開できればよい。
- 委員 基本的には、活動場所の提供に限らず相談業務や団体へ知見、パーソン活動（福祉やボランティアの分野における具体的な取り組み）に注視し、ソフト面の取り組みを充実させていくことを進めていただきたい。
- 委員 国際化協会との融合や多文化共生と環境に力を注ぎ、ゴミの問題は外国人の方には難しいため、広報活動を含め課題・問題の解決に寄与できればよい。
- 委員 答申の意見については、予算編成は何年も前からあまり変わっていない。収入と支出のバランスについても層があり、３年間同じ検討で終わっている。行政も一緒になって具体的なプロセスを実現するために取り組んでいただきたい。例えば併走支援や環境支援を踏まえた取り組みが必要であり、事業を創出していただきたい。また、建物入口が暗いイメージがあり、市民活動の場所として改善し、利活用してもらいたい。
- 委員 市民活動は間口や奥行きが深いため、３年間での目標を設定し、１年目で何をやって２年目で何をして、３年目で結果を出すなどの計画を進めていただきたい。また、様々な施設と連携してコーディネート能力を養っていただきたい。
- 委員 協働推進会議も１４年目を迎え、当初の趣旨がマンネリ化している。市民活動の肝となる拠点やまとが中心となり、市民と行政が協働で新しいものを創り出すことが求められている時期にきている。例えば拠点やまとの支店を作るなど、大きな舵をとって市民の豊かな暮らしを追求し、広報・いろんな関係者を巻き込んで市民との協働を考えて進めていくことが必要である。

### ７．その他

- ・本日 16：00 から市長へ答申を行います。
- ・今回の答申内容を踏まえ、その結果を 8 月 25 日（火）の検討結果報告会で市から担当課・申請者に伝えます。

以 上